

対象クラス	第3学年 生活デザイン科 保育類型	単位数	4
使用教科書	子ども文化(教育図書)		
使用副教材	こどものうた 200(チャイルド本社)・ピアノ教則本バイエル		

「子ども文化」はこんな科目です。

子どもと遊び、子どもの表現活動、児童文化財に関する知識と技術を習得して、子ども文化の充実を図る能力と態度を育てることを目標にした科目です。

科目の到達目標(目標とする検定等)

- ・子ども文化の意義や子どもの遊びの重要性に気づき、具体的な表現活動・製作活動を通して知識や技術を身に付けていきます。
- ・地域に目を向け、子どもたちとの交流を通して発達の様子や児童文化財との関わりを理解していくことを目指しています。(保育園実習・子育て支援活動・乳幼児教室の指導)
- ・全国高等学校家庭科保育技術検定2級程度の知識と技術の定着を目指します。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	・与えられた課題や体験学習などに関心をもち、意欲的に取り組んでいこうとする姿勢が見られ、工夫し創造しようとしているか。 ・課題の提出期限を守ることなど、将来の保育者として求められる行動を身に付けようとしているか。	・提出物の提出状況 ・授業態度 ・課題への取組状況
思考・判断・表現	・常に、子どもの発達段階を考えた選択や習得した知識や技術を総合的に考えて検討しているか。	・授業態度 ・定期考査
技能	・造形、言語、音楽、身体などの表現活動の技術や習得した知識が作品に生かされているか。	・製作物、発表 ・実技テスト・課題への取組状況
知識・理解	・子どもの発達と児童文化の重要性を知識として理解しているか。	・定期考査、レポート(課題)

学習計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	第3章 子どもと表現活動	【体験・実習】 ピアノ・歌唱指導 ・言語表現活動 ・歌う・踊る・演奏する	・子どもとのスキンシップ、コミュニケーションのきっかけとなる手遊び歌を調べ、正しく歌い演じる。 ・製作した「エプロンシアター」を工夫して演じる。 ・遊びと遊具の関わりについて理解し、発達段階に合わせた遊具の選択をする。 ・社会の変化に伴い遊び環境が変化していることを知る。 ・保育技術検定2級の各種目(造形・家庭看護)程度の技術と知識の定着を目指す。
	第2章 子どもと遊び 【前期中間考査】	エプロンシアターの実演 ・遊びと発達・現状・遊具玩具 外部講師実技講習会	
前期期末	第7章 子ども文化実習	保育園実習 絵本・紙芝居の制作	・幼児の遊びを観察する。 ・テーマに合わせた創作絵本を制作し、コンクールに出品する。 ・児童文化財の創作・作成、上演に向けて積極的に取り組む。 ・児童文化財が子どもたちに及ぼす効果を十分に理解する。
	第4章 子どもと文学 第3章 子どもと表現活動 【前期期末考査】	・絵本、紙芝居 ・言語表現活動 パネルシアターの制作・実演	
後期中間	第5章 現代の子どもの生活と文化 【後期中間考査】	基本的な絵画技法の実習 ・子どもと年中行事 児童文化財製作	・スクラッチ、スチレン版画・テカコマニーなど幼児の絵画遊びに使われる基本的な技法を習得する。 ・創意工夫のある活動ができる。 ・保育技術検定2級の各種目(造形・音楽リズム・言語表現)程度の技術と知識の定着を目指す。

学年末	第6章 子ども文化を支える場 【後期期末考査】	地域交流活動 演じる・発表・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・総まとめとして、各自の役割を認識し、学習成果発表会に向けて意欲的に取り組むことができる。 ・将来の進路を見つめる。
-----	-------------------------------	----------------------	---

その他 外部講師による体験実習も実施します。